

2020年8月13日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
三菱UFJ信託銀行株式会社

保有株式の売却について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規、以下「MUFG」）の連結子会社である三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 長島 巖、以下「当社」）は、保有する資本・業務提携先であるAMP Capital Holdings Limited（代表者 CEO Boe Pahari、以下「AMP Capital」）の全普通株式の売却を決定し、売却先であるAMP Holdings Limitedとの間で株式売買契約を締結いたしました。

1. 株式売却の内容（株式数は銀行勘定のみを記載）

売却普通株式数	19,905,000株
売却予定時期	2020年度 第2四半期中※1
売却後普通株式数	0株
売却先	AMP Holdings Limited
売却額	460百万豪ドル (345億円※2、9百万豪ドルの配当を含む)

※1 関係当局の承認を前提とする ※2 1豪ドル=75円で換算

2. 株式売却の理由

MUFGは、2017年5月15日に公表しました「MUFG再創造イニシアティブ」において掲げた「生産性向上に向けたイニシアティブ」の個別施策として、国際金融規制の強化やグローバルな事業環境の変化に対応すべく、資本運営の最適化を進めております。このような背景の中、MUFGグループ各社による戦略出資に関しては、その戦略性・資本効率・出資採算等の観点から見直しを行っております。

今回、全普通株式を売却することになったAMP Capitalは、豪州最大級の総合金融グループAMP Limited傘下の資産運用会社で、当社は2011年12月に資本・業務提携契約を締結して以来、AMP Capitalグループの運用商品を国内のお客さま向けに提供してまいりました。

今般、MUFGを取り巻く環境変化に加え、当社およびAMP Capitalの今後の戦略を踏まえ慎重な検討を重ねた結果、保有する全普通株式を売却する結論に至りました。資本・業務提携契約は終了しますが、引き続きAMP Capitalが当社にとって重要なパートナーであるという位置付けは不変です。

3. 業績に与える影響

本株式売却がMUFGの当期の業績に与える影響は軽微です。

以上